



だて正夢

登米地域の稲作通信 第4号

令和8年7月2日発行

宮城県米づくり推進登米地方本部

宮城県登米農業改良普及センター

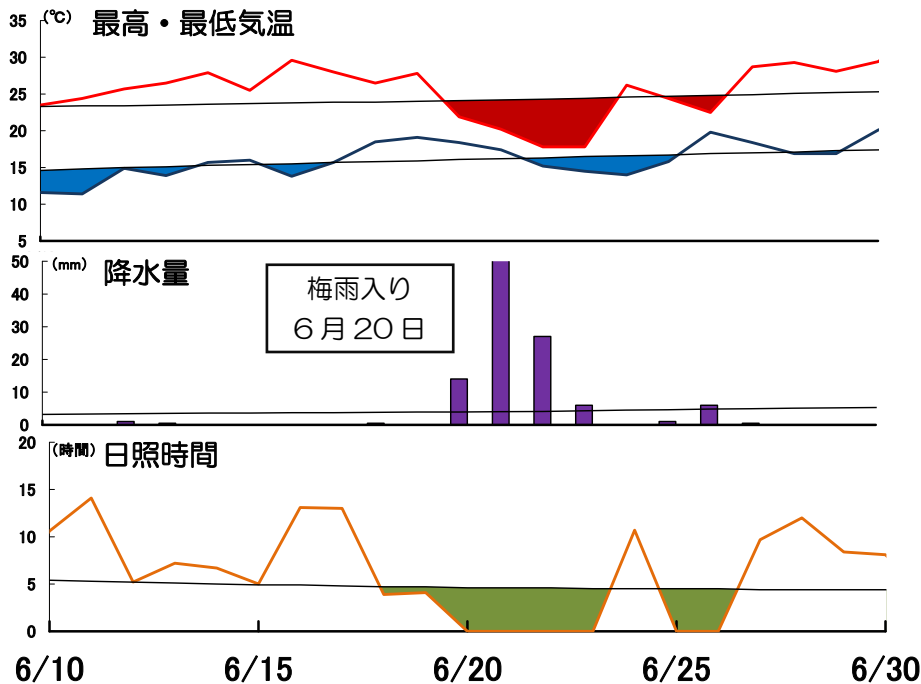
Tel: 0220-22-6127



<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

【気象経過】

観測地点：米山アメダス



6月下旬の平均気温は平年並で推移しました。降水量は21日(64mm)と22日(27mm)にまとまった降雨があり、平年比223%と平年を上回りました。日照時間は21~23と25~26日に平年を下回りましたが、27~30日に天候の良い日が続き、平年比108%となりました。

6月は、平均気温が上~中旬に平年よりも高くなりましたが、下旬は平年並みとなり、6月を通してほぼ平年並みとなりました。また、日照時間は上旬が平年と比べて少なくなりましたが、中旬が多く、下旬は平年並みとなり、6月を通して平年並みとなりました。降水量は上旬と下旬にまとまった雨が降り、6月を通して平年を上回りました。

【気象経過(旬別平年差・比)】

		5月			6月		
		平均気温 (°C)	日照時間 (時間)	降水量 (mm)	平均気温 (°C)	日照時間 (時間)	降水量 (mm)
上旬	本年値	15.1	78.1	50.0	17.9	48.7	56.5
	平年値	11.0	63.7	27.4	16.4	61.5	27.9
	平年差・比	4.2	123%	182%	1.5	79%	203%
中旬	本年値	16.8	103.5	4.5	20.1	72.3	16.0
	平年値	13.1	63.2	32.1	19.0	49.2	36.4
	平年差・比	3.7	164%	14%	1.1	147%	44%
下旬	本年値	17.4	76.9	63.5	19.9	48.9	104.5
	平年値	14.5	80.1	36.4	19.9	44.8	46.8
	平年差・比	2.8	96%	174%	0.0	109%	223%

※上旬は1~10日まで、中旬は11~20日まで、下旬は21~31日までの期間。

【移植栽培】

1 生育状況

【水稻生育調査結果(移植)】

No.	品 種	栽培タイプ	調査地点	栽植密度(株/m ²)	移植日	6月19日				7月1日				
						草丈(cm)	莖数(本/m ²)	葉色(GM)	葉数(枚)	草丈(cm)	莖数(本/m ²)	葉色(GM)	葉数(枚)	
1	ひとめぼれ	Cタイプ	中田町	15.9	5月12日	27.7	267	40.2	6.5	47.4	396	41.0	8.0	
						-9日	90%	83%	-0.8	±0	86%	79%	-1.0	-0.6
					5月12日	-4日	81%	96%	-1.5	—	93%	83%	-1.0	—
						前年比・差	—	—	—	—	—	—	—	—
2	ササニシキ	Cタイプ(復活カコシ)	豊里町	15.4	5月17日	+8日	90%	101%	3.2	—	101%	119%	7.2	—
						+9日	86%	108%	0.7	—	102%	105%	3.2	—
					5月17日	—	—	—	—	—	—	—	—	
						前年比・差	—	—	—	—	—	—	—	—
3	にじのきらめき	高温対策技術展示ほ	中田町	15.8	5月10日	35.1	474	44.5	7.9	54.8	638	41.4	9.5	
4	ひとめぼれ	古川農試5/11植え	古川農試	—	5月11日	29.0	507	43.7	7.8	49.5	701	44.4	9.1	
					5月11日	—	76%	98%	-1.4	-0.5	91%	106%	3.0	-0.6
						前年比・差	—	—	—	—	—	—	—	—
5	ひとめぼれ	古川農試5/20植え	古川農試	—	5月20日	23.1	273	40.9	6.6	41.9	487	44.7	8.3	
					5月20日	—	71%	71%	-2.8	-0.9	82%	75%	3.1	-1.1
						前年比・差	—	—	—	—	—	—	—	—
6	ひとめぼれ	古川農試5/29植え	古川農試	—	5月29日	20.7	153	32.7	5.2	32.0	345	42.8	7.5	
					5月29日	—	—	—	—	—	—	—	—	
						前年比・差	—	—	—	—	—	—	—	—

※栽培タイプ「Cタイプ」：農業・化学肥料節減栽培（慣行栽培の5割減：農業8成分、化学窒素成分3.5kg以下）
 ※平年値は、過去5か年（令和3年～令和7年）の平均値。「にじのきらめき」は令和8年度から設置したため平年値・前年値なし。
 ※古川農試5月29日植えは平年値なし。

7月1日現在、管内の生育調査ほのひとめぼれは全ての調査項目で平年を下回り、葉色はほぼ平年並みとなっています。また、ササニシキは草丈と莖数、葉色は平年をやや上回っています。

古川農業試験場作況試験ほ場のひとめぼれでは、5月11日植えでは平年と比べて草丈が短く、莖数と葉色が平年並、葉数がやや少なくなっています。5月20日植えでは草丈、莖数、葉数の調査項目で平年を下回っています。葉色は平年をやや上回っています。

2 今後の管理

(1) いもち病対策

米山のアメダスでは6月22日までに葉いもち感染好適条件が出現していませんが、ほ場をよく観察し、早期発見に努めましょう。発病が見られたときには速やかに茎葉散布剤で防除してください（環境保全米で発生が見られた場合はJAにご相談ください）。

アメダス資料による葉いもちの感染好適条件の出現状況(BLASTAM 令和8年度)

日付	駒ノ湯	気仙沼	川渡	築館	米山	志津川	古川	大衡	鹿島台	石巻	女川	新川	塩釜	仙台	白石	蔵王	亘理	丸森
6/15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	?	—	—	—	—	—	—
6/16	—	—	—	—	—	?	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/19	—	△	—	—	△	△	—	—	—	—	△	△	●	●	●	○	●	△
6/20	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	—	—	—	—	—	—
6/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	△	—	△
6/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	●	△	—	△

●	好適条件	葉いもちの大量感染に好適な気象条件(葉面湿潤時間10時間以上、平均気温15～25℃、前5日間の平均気温20～25℃)が出現した日
○	準好適条件1	当日の条件は満たしているが、前5日間の平均気温が条件から外れている場合
△	準好適条件2	葉面湿潤時間の長さのみ好適条件を満たしている場合
—	好適条件なし	
?	判定不能	

(2) 紋枯病対策

高温年では紋枯病の発生が多くなる傾向があり、昨年は多くのほ場で発病が見られ、また、一部で病徴の進展したほ場も見られました。昨年発生したほ場では、ほ場に菌が残っており今年も発生することが懸念されます。紋枯病は、倒伏や白未熟粒の発生原因にもなるので、多発が予想されるほ場では、薬剤による防除を行きましょう。防除適期は穂ばらみ期から出穂期で茎葉散布剤が株元の葉鞘までよくかかるように散布しましょう。



上位進展した病斑

(宮城県病害虫防除 病害虫ライブラリー)







要防除水準(収量が5%以上の減収を想定する場合は、穂ばらみ期の発病株率が「ひとめぼれ」で18%、「ササニシキ」で10%です(環境保全米で防除を検討する場合は、JAまでご相談ください)。

(3) 斑点米カメムシ類対策の畦畔除草

今年度も、既に水田周辺の雑草でアカスジカスミカメやホソハリカメムシの生息が確認されています。着色粒発生抑制のため、畦畔の除草を行い対策しましょう。

イネ科雑草(特にイタリアンライグラス等)の多い畦畔では、斑点米カメムシ類が誘引されて産卵・繁殖する場所となり、斑点米被害につながる可能性が高くなります。**アカスジカスミカメ第1世代幼虫の発生ピークとなる7月上~中旬が除草適期となります。**計画的に畦畔の除草を行きましょう。

ただし、出穂期前後の草刈りは水田内に斑点米カメムシ類を追い込むこととなりますので、畦畔草刈りは水稻の出穂 15~10日前までに終了するようにしましょう。管内の過去5か年平均の出穂期は8月1日ですので、遅くとも7月20日ごろまでに草刈りを終了するようにしましょう。

		
アカスジカスミカメ (体長 4.6~6.0mm)	アカヒゲホソミドリカスミカメ (体長 4.5~6.4mm)	フタトゲムフギカスミカメ (体長 7~9mm)
		
クモヘリカメムシ (体長 15~17mm)	ホソハリカメムシ (体長 8.5~11mm)	

斑点米カメムシの詳細はこちら
(病害虫防除所 HP)

(4) 生育ステージの予測値および今後の水管理

生育ステージの予測値（7月1日現在）

移植日	5月5日	5月10日	5月15日	5月20日	5月25日
幼穂形成期	7/1~7/5	7/3~7/7	7/6~7/10	7/10~7/14	7/14~7/17
出穂期	7/29~8/1	7/31~8/3	8/2~8/5	8/5~8/8	8/8~8/11

※主稈葉齢予測モデル（普及に移す技術第80号）を用いた予測値。移植時葉齢を2.5葉~3.5葉として予測。平均気温は6月30日までの米山アメダスの実測値。

管内の過去5か年平均の出穂期は7月31日です。中干しは幼穂形成期（幼穂長1mm程度）までに終了しましょう。

移植時の葉齢を2.5~3.5葉とした生育ステージの予測値を算出しました。管内の田植え盛期は5月13日となっており、5月10日に移植した場合、幼穂形成期は7月3日~7月7日頃、出穂期は7月31日~8月3日頃となる見込みです。ただし、今後気温の高い日が続くと出穂期が早まる可能性があります。

(5) 追肥

葉色が低下してきているほ場が見られます。穂揃期以降も葉色を維持することで、高温による白未熟粒の発生を抑制することができます。ほ場をよく観察し、追肥の判断をしましょう。

環境保全米で有機質肥料を追肥に用いる場合は、有機質の分解に時間を要するので化学肥料よりも早めに施用しましょう。

環境保全米では、栽培期間中（育苗+本田）に使用する化学肥料の窒素分量が決まっています（合計3.5kg/10a）ので、これまでの施用量を計算して追肥量を決定しましょう。

追肥の施用時期によって、倒伏や玄米タンパク質の増加などの影響があります。適切なタイミングで追肥を行いましょう。

表 生育ステージと生育量の目安

ひとめぼれ	幼穂形成期 7月7日頃	減数分裂期 7月20日頃	つや姫	幼穂形成期 7月16日頃
草丈(cm)	56~59	66~69	草丈(cm)	70~75
茎数・穂数(本/m ²)	470~500	450~500	茎数・穂数(本/m ²)	550~580
葉色(SPAD)	38~40	35~37	葉色(SPAD)	35~37
追肥窒素量目安(kg/10a)	1	1	追肥窒素量目安(kg/10a)	2

ササニシキ	幼穂形成期 7月13日頃	減数分裂期 7月25日頃	だて正夢	幼穂形成期 7月15日頃	減数分裂期 7月25日頃
草丈(cm)	62~68	-	草丈(cm)	64~70	76~82
茎数・穂数(本/m ²)	720~760	550~580	茎数・穂数(本/m ²)	390~460	380~420
葉色(SPAD)	34~36	32~34	葉色(SPAD)	40~42	37~39
追肥窒素量目安(kg/10a)	-	1~1.5	追肥窒素量目安(kg/10a)	-	2

※幼穂形成期、減数分裂期の目安日は

宮城の主要優良品種の栽培ごよみに記載の日付です。

【穂肥窒素の施用時期と生産要因への影響】

		生産要因への影響					
		穂数の増加	1穂穎花数の増加	1穂穎花数の減少防止	登熟の良化	下位節間の伸長と倒伏	玄米タンパク質増加
施用時期	幼穂形成期	○	◎	○		×	
	減数分裂期		○	◎	◎		
	穂首分化期	○	○		×	××	
	穂揃期				○		×

◎ 効果高い ○ 効果あり × 悪影響あり ×× 悪影響強い

【直播栽培】

1 生育状況

【水稲生育調査結果(乾田直播)】 令和8年度から調査地点を豊里町に変更しています。

No.	品 種	栽培タイプ	調査地点	播種月日	調査結果	苗立本数 (本/m ²)	6月19日			7月1日		
							草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	葉色 (GM)	草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	葉色 (GM)
1	ササニシキ	アウリ耕 グレイドリル体系	豊里町	4月20日	令和8年調 査値	145.6	27.6	358	34.6	39.3	544	35.6
2	【参考】 ササニシキ	アウリ耕 グレイドリル体系	米山町	4月25日	R3~7年の 平均値	79.4	34.6	194	35.9	41.8	370	36.5

※令和8年度から調査地点を豊里町に変更しています。

※2の【参考】ササニシキ(米山町)は令和3~7年の5か年間の平均値を使用しています。

7月1日現在、管内の生育調査ほのササニシキは草丈 39.3cm、莖数 544 本/m²、葉色 35.6 (GM) となっており、順調に生育しています。

2 今後の管理

(1) 生育状況に応じた水管理

乾田直播では播種時の鎮圧によりほ場が固いので、収穫機械作業に支障がない場合は、中干しは不要です。ただし、播種深度が浅く、根の支持力が弱い場合等は中干しを行いましょう。

(2) 追 肥

移植栽培と同様に葉色の低下が見られたら、追肥を実施しましょう。流し込み追肥用肥料を活用することで省力的に追肥を実施することができます。

東北地方の向こう1か月の天候の見通し (6/27~7/26)

(令和8年6月25日発表) 仙台管区気象台

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。

期間のはじめは冷涼な空気が流れ込みやすく、気温がかなり低くなる見込みです。向こう1か月の気温は平年並か低いでしょう。平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温 低20 並30 高50% 高い見込み
降水量 少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
日照時間 少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み

農薬危害防止運動実施中 (令和8年6月1日から8月31日まで)

農薬による事故を未然に防ぎ、消費者の皆さんに安全・安心な農作物を届けるため農薬は適正に使用しましょう。

7月から9月は夏の熱中症等声かけ期間です！

「いのちをうばう、夏のひとり作業」
一人ひとりの「大丈夫？」が、命を守ります。
この夏は熱中症による死亡者0を目指しましょう！